

表紙写真（国営木曽三川公園 かさだ広場の在来河原植物）

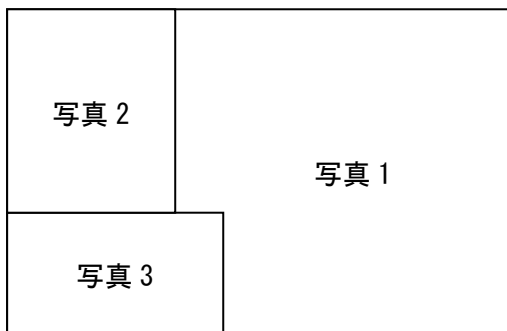


写真 1：カワラサイコ

写真 2：カワラナデシコ

写真 3：河原に侵入した外来種（写真左：オオキンケイギク 写真上および右下：シナダレスズメガヤ）と在来河原植物（写真中央：カワラヨモギ）

国営木曽三川公園かさだ広場には、平成 18 年 2 月に特定外来生物の二次指定植物となったオオキンケイギクが広い面積で分布しており、5 月～7 月にかけて一斉に開花して一面の黄色いお花畑を形成します。しかし、かさだ広場には礫河原に固有なカワラサイコ、カワラナデシコ、カワラマツバ、カワラヨモギといった在来河原植物が生育しており、これら在来河原植物へのオオキンケイギクの生態的影響が懸念されています。

オオキンケイギクの防除については、国内での管理実験などの研究例が少なく、効果的な管理手法を検討するための情報蓄積が必要となっています。